

(6月25日) : 利益確定圧力で下落

多くの銀行株に利益確定圧力が高まったため、VN指数は下落して取引を終えた。

VN指数は2.72ポイント(0.28%)下落し、960.13ポイントで取引を終えた。

104銘柄が上昇したのに対し、180銘柄が下落して取引を終えた。出来高は9%増加し、1億6400万株であった。売買代金も6.6%上昇し3.61兆ドンで取引を終えた。相対取引では4360万株、1.1兆ドンが取り引きされた。

多くの銀行株は下落して取引を終えた。ベトナム産業貿易商業銀行(CTG)は1.64%下落し21,050ドン、ベトナム投資開発銀行(BID)は1.53%下落し32,100ドン、軍隊商業銀行も0.94%下落し21,100ドンで取引を終えた。

また、ベトコムバンク(VCB)は0.82%下落し72,400ドンで取引を終え、テクコムバンク(TCB)も0.72%下落し20,750ドンで取引を終えた。

VPバンク(VPB)とHDバンク(HDB)のみがそれぞれ0.52%、0.19%上昇し、19,400ドンと26,700ドンで取引を終えた。

銀行株の中では、CTGの出来高が363万株で、次いでVPBは260万株、STBが250万株であった。

ビンググループ(VIC)とビンホームズ(VHM)は変わらずで取引を終えた。ビンコムリテール(VRE)は0.58%下落し34,300ドンで取引を終えた。

大型株の中では、ホアファットグループ(HPG)、ベトナム航空(HVN)、ハノイビール(BHN)などが下落して取引を終えた。

一方上昇した銘柄として、FPTグループ(FPT)は2.99%上昇し46,500ドンで取引を終えた。出来高も327万株と市場の流動性改善に貢献した。

ビナミルク(VNM)、サイゴンビール(SAB)、ベトジェット航空(VJC)、ノバランド(NVL)などは0.24-1.04%ほど上昇した。

FLCファロス建設(ROS)は出来高が1000万株でもっとも取引された銘柄であった。変わらずの30,000ドンで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.6%下落し、104.15 ポイントで取引を終えた。出来高は 2489 万株で、売買代金は 4490 億ドンであった。

相対取引では 410 万株、1416 億ドンほどが取り引きされた。

時価総額上位 10 銘柄は変わらずで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。